

## (仮称)越木岩センターについて

### (仮称)越木岩センター概要

越木岩公民館の耐震化に当たり、同一敷地内に存在する越木岩公民館、中央図書館越木岩分室(以下、「図書館分室」という)、消防団越木岩分団車庫の3つの建物を合築することにより、土地の有効活用と施設管理の効率化を図り、また、これらの機能を融合することで新たな地域づくりの拠点施設として(仮称)越木岩センター(以下、「新センター」という)を整備します。



延べ床面積 1,789.73 m<sup>2</sup>(ピロティ部 263 m<sup>2</sup>含む) ※信号方向から見たイメージ。右が苦楽園口通。左が北夙川通り。

RC造一部木造 S造 3階建

階	室名	広さ	利用用途
1階	サポーターズルーム	23.44 m <sup>2</sup>	地域団体専用
	地域交流スペース	79.48 m <sup>2</sup>	共有スペース
	ランチルーム	49.60 m <sup>2</sup>	調理室兼会議室
2階	図書館	163.29 m <sup>2</sup>	
	読書学習スペース	48.51 m <sup>2</sup>	図書の閲覧や自習室
	ルーム A	59.04 m <sup>2</sup>	貸室
	ルーム B	44.37 m <sup>2</sup>	貸室(防音)
	ルーム C	39.49 m <sup>2</sup>	貸室
	多目的協議スペース	63.79 m <sup>2</sup>	共有スペース
3階	多目的ホール	209.97 m <sup>2</sup>	貸室
屋外・ピロティ	駐車場	12台	

## ■施設基本コンセプト

<p>人づくり・つながりづくり・地域づくり ～人生 100 年時代の人・まちを見据えた交流拠点～ －機能の融合と一体感を象徴する施設－</p>
<p>新センターは、越木岩公民館や図書館分室等を合築するだけでなく、各々の機能を生かし、多世代にわたる地域住民の居場所として人と人との交流やつながりを深めるとともに、生涯学習の取組をきっかけに、地域活動への主体的な参画や地域づくりにつながる「学びと活動の好循環」を実現する仕組みを備えた施設を目指します。</p>

## ■機能と役割

公民館や図書館等それぞれの施設が有する機能の融合を図り、多様な世代・立場の人たちが新センターに立ち寄り居場所のひとつとなるきっかけとしたいと考えています。また、地域で活動をしたい方への支援や地域団体など多様な主体の交流の機会づくりを進めていきます。多様な団体がつながり、協力しあえる関係性や各団体の課題・情報が共有、発信される場とするため地区社会福祉協議会が開催している北夙川・苦楽園地区ネットワーク会議と連携し、新センターを訪れると地域の情報が得られるなどの環境整備を進めます。

機 能	役 割
図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な世代、立場の人たちが新センターに立ち寄りきっかけになる</li> <li>・読書や勉強など図書館を訪れた人たちが居心地よく過ごせる</li> </ul>
貸室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用要件の緩和により、多様な主体(団体・個人)の活動拠点になる</li> <li>・予約方法を見直し、幅広い利用を促す</li> </ul>
交流スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に誰でも立ち寄りことができ、居心地よく過ごせる</li> <li>・ちょうど良い距離感の中で会話する機会がある</li> <li>・子供から高齢者まで、1人でもグループでも利用できる</li> </ul>
活動者の支援・サポート ※地域支援機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動したい人の相談、支援（アドバイス、適切な資源の紹介など）</li> <li>・きっかけづくりや、レベルアップにつながる自主事業(イベントなど)</li> <li>・エリア内にある団体の多様な主体の交流の機会づくり</li> </ul>
地域のプラットフォーム ※地域支援機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体同士がつながり、協力しあえる関係性づくり</li> <li>・エリアの多様な団体の動きや課題が共有され、発信される</li> <li>・新センターを訪れると、地域の情報が得られる環境を整備</li> </ul>

## ■新センターの生涯学習推進計画における位置づけ(抜粋)

基本方針 2 誰もが参加できる学びの環境づくり
基本方針 4 生涯学習を通じた地域づくり・まちづくり
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 地域の拠点としての生涯学習関連施設の運営(施設整備・運用のあり方を検討)</li> <li>◆ 施設の機能面での複合化の推進(効果的な住民サービスの提供と学習支援)</li> <li>◆ 地域課題解決型学習の支援(地域課題解決に取り組む人材育成、情報提供等活動の支援)</li> <li>◆ 市民参画のしくみづくり(学習や交流を通じた地域課題の共有、協働のしくみづくり)</li> <li>◆ 地域共生社会の実現に向けた生涯学習の推進(西宮市社会福祉協議会との連携)</li> <li>◆ 地域づくりの拠点としての公民館機能の再構築(コーディネート機能の強化など)</li> </ul>

## 1 新センターと越木岩公民館・図書館分室との比較

これまで越木岩公民館は、社会教育法に定められた範囲で運用してきましたが、利用者の多様なニーズに応えづらい状況にありました。そこで、合築する図書館との一体的な運営を前提に、社会教育目的に留まらない、より自由度の高い新たな地域づくりの拠点施設へ移行します。

	新センター	越木岩公民館・図書館分室
設置根拠	地方自治法、図書館法 新たな複合施設条例(R7.3 予定) 西宮市立図書館条例	社会教育法、図書館法 西宮市立公民館条例 西宮市立図書館条例
性質	地域づくりの拠点施設 ※図書館の機能を活かした地域づくり の拠点となる複合施設	社会教育施設 (公民館・図書館)
活動内容	学び(生涯学習)を媒介とした 地域交流・地域づくりにつながる活動	・地域学習推進員会活動(各種講座) ・地域団体、登録グループ優先使用
運営体制	指定管理者制度	市直営(公民館)／業務委託(図書館)
メリット	・地域共生社会の実現など他の施策目的との幅広い連携や、地域で活動する様々な主体との連携が可能となる ・地域づくりを通して、生涯学習(社会教育)の充実を図ることができる	狭義の学習活動が他の活動よりも優先される
デメリット	様々な活動との関係で従来の狭義の学習活動に支障が出る可能性がある	・学習活動が自己目的化する傾向 ・貸館機能、貸本機能に特化する傾向 ・営利目的の利用禁止など制限が多く、施設が有効活用されにくい

## 2 新センター移行による主な変更点

- 複合施設による機能融合・連携
- 大幅な利用要件の緩和
- 管理運営の合理化と利便性の向上
- 地域支援機能を明確化

### (1) 複合施設による機能融合・連携

施設や部署の枠組みを超えた情報連携や各施設が有する機能の融合を図ります。新たな複合施設条例では、新センターに、公民館に替え、学びを通して地域づくりに資する目的や活動内容を明確に定義した施設として(仮称)コミュニティ・プラザを置き、図書館分室との有機的、一体的運営を進めてまいります。具体的には、本の貸し出し処理を行わずとも新センター内であればどこでも読書が可能となる環境を整備し、図書館を活用した行事を計画するなど、賑わいや施設間での多様な人々の交流を促進します。

## (2) 大幅な利用要件の緩和

図書館専用部分を除き社会教育法の適用を受けないため、多様なニーズに応じた利用が可能となります。(法令や公序良俗に反することがなく、施設管理上の支障がないことが前提。)

利用内容	新センター	越木岩公民館
営利目的の利用	○利用可 (利用料に営利加算を予定)	△一定の制限あり (社会教育法第23条など)
政治目的の利用	○利用可	
宗教目的の利用		
飲食目的の利用		

## (3) 管理運営の合理化と利便性の向上

ア) 指定管理者制度(利用料金制)の導入

指定管理者制度(利用料金制)の導入により施設の一体的な運営を実施します。

地域支援の機能については、社会福祉法人西宮市社会福祉協議会(以下、「市社会福祉協議会」という)との連携(※(4)参照)による実施を想定しています。

### 運営体制など比較

項目	新センター	公民館・図書館(現状)	
		越木岩公民館	図書館分室
運営体制	指定管理者制度	市直営 ※夜間、休日は業務委託	業務委託
職員配置	指定管理者が決定	2名(会計年度 A)	3~5名
開館時間	9:00~21:00 ※図書館分室は9:30~18:00	9:00~22:00	10:00~17:00

※新センターの図書館分室の開館時間は、現況を参考に、指定管理者の提案によります。

### 指定管理者選定スケジュール(予定)

時期	内容
令和7年3月	公民館・図書館条例改正、複合施設条例制定など
令和7年4月~	指定管理者公募手続き
令和7年夏頃	同 選定手続き
令和7年12月	同 指定手続き
令和8年4月	同 業務開始
令和8年夏頃	新センター開館

### イ) 駐車場の有料化を検討

駐車台数がこれまでの4台から12台へ増加することに伴い、回転率を上げ、より多くの新センター利用者が使用できるよう、駐車場の有料化を検討します。

ウ)利用時間帯(貸館部)の見直し

新センター		越木岩公民館	
9:00~ <u>21:00</u> (1.5h×8区分)		9:00~ <u>22:00</u> (1.5h×8区分)	
1	9:00~10:30	1	9:00~10:30
2	10:30~12:00	2	10:30~12:00
3	12:00~13:30	3	12:30~14:00 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">30分</span>
4	13:30~15:00	4	14:00~15:30
5	15:00~16:30	5	15:30~17:00
6	16:30~18:00	6	17:30~19:00 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">30分</span>
7	18:00~19:30	7	19:00~20:30
8	19:30~21:00	8	20:30~22:00

遅い時間帯の利用率が低いため、30分×2回のインターバルを削除し閉館時間を1時間短縮します。

エ)予約方法の見直し

施設利用促進のため、新センターでは登録に一定の条件が必要である定期使用グループ等の制度を廃し、営利団体を含め、多くの団体に定期利用が可能となるよう見直しを行います。

また、大規模イベントなどの実施を想定し、一定条件のもと先行予約(随時)を認めます。

団体		予約種別など	
		新センター	越木岩公民館
地域団体など		・年間定期利用(次年度分)の先行予約 ・大規模イベント等の先行予約 ※先行予約には枠数の制限や地域団体の優先など諸条件あり ・一般予約(2ヶ月前から)	一般予約(2ヶ月前から)
一般団体	非営利		営利制限あり
	営利		
定期使用グループ・団体 ※事前登録		(上記取扱いへ変更)	先行予約(2年毎に更新)

オ)自動抽選システムの導入、キャッシュレス決済の導入

利用者の利便性向上のため自動抽選システムやキャッシュレス決済(PayPay)を導入します。

カ)保守点検日の設定(毎月1日)

図書館の休館日に合わせて毎月1日程度の保守点検日の設定を検討します。

(4)地域支援機能を明確化

新センターの対象地域となる北夙川・苦楽園地区において、地域の団体間の連携・協力を推進するなど、住民相互の交流を重視し、共生社会の実現に向け地域に根差した取組を進めている市社会福祉協議会と連携し、その拠点を置くことにより、以下の地域支援機能を備えます。

- ・日頃からの人間関係、つながりづくり、地域づくりにつながる場の提供
- ・地域の方々と共にやりたいことがある人の相談、支援
- ・地域の多様な主体の交流の機会づくり

### 3 整備スケジュール

時 期	内 容
令和6年9月～	既存施設の解体・新センター建設工事着工
令和8年4月～	・新センター竣工 ・新センター開館準備(備品購入・搬入、施設予約開始など)
令和8年夏頃	新センター開館

### 4 地域づくりの拠点施設に向けた取組

#### (1)新センター準備委員会について

##### ア)目的

新センターの開館までの機運盛り上げに関するイベント開催や、施設の管理運営方針の策定に向けた協議を行うとともに、開館後、新センターが、地域住民の主体的な活動を支援する機能を備えるよう取組んでいます。

##### イ)構成員(11名)

越木岩自治会、越木岩会、越木岩青年会、地区社会福祉協議会、校区民生委員・児童委員協議会、越木岩公民館地域学習推進員会、ワークショップ参加者、図書館関係者など各種団体・個人で構成されています。

##### ウ)事務局

事務局は市と市社会福祉協議会が共同して担い、図書館や公民館を所管する市関連部署も参加した連絡会議を定期的で開催し、地域づくりの拠点施設に向けた協議を進めています。

##### エ)開催経過

時期	内容
令和5年11月	新センター準備委員会 発足 【第1回開催】経緯、目的などの共有
令和6年1月	【第2回開催】広報活動、構成委員、公民館閉館イベントなど協議
令和6年3月	【第3回開催】イベント開催、公民館閉館後の対応など協議
令和6年4月	【第4回開催】準備委員会の体制、トークバトンイベント開催など協議
令和6年6月	【越木岩トークバトン①の開催】 越木岩公民館地域学習推進員会と共催で越木岩トークバトンを開催。地域のあらゆる「人」をバトン形式で紹介しながら新センター開館に向けての計画・動きを、地域の方に発信するイベントを開催。
	【第5回開催】施設管理運営計画の策定など協議
令和6年8月	【第6回開催】施設管理運営方針など協議
令和6年10月	【第7回開催】施設管理運営方針など協議
令和6年11月	【越木岩トークバトン②の開催】

## オ)地域への発信について

新センター開館に向けた機運盛り上げなどのため、協議内容や取組をSNSや、各種会議の場を通じて地域へ発信しています。

- ・越木岩通信(広報用チラシ)を作成し地域へ配布
- ・準備委員会の専用 Instagram による情報発信
- ・地域団体の各種会議での情報提供など

## (2)新センター準備委員会の取組内容について

施設の運営方針や利用要件など基本的な施設のあり方は、市の責任において決定しますが、地域の方が望む活動のあり方や、支援の仕組みについて協議を行うこととしています。

令和6年8月には、これまで、様々な機会に市と地域が対話する中で積み上げてきた議論を基に、市が新センターの運営方針(案)を提示し、賛同を得ました。

今後、この運営方針(案)を基に、新センターの果たすべき役割の共通理解を図り、令和7年度には、開館後の活動につながる地域主体の活動が行われるよう取組を進める予定です。

### 運営方針(案)

#### ➤ みんなの「やりたい」が集まる交流の場づくり

幅広い世代の方々が気軽に集まり、楽しく交流できるイベントやプログラムを通じて、世代を超えたつながりを育みます。

#### ➤ 「一生学び続ける」をサポート

どなたでも学びを楽しめる環境を提供し、学ぶことが生活の一部となるように支援します。その学びが地域活動につながるよう、背中を押します。

#### ➤ 安心して過ごせる場づくり

安全で清潔な環境を保ち、誰でも安心して利用できる居心地の良い空間を提供します。防災・防犯の拠点として、どんなときも安心して過ごせる施設を目指します。

#### ➤ 地域を一緒に育てるパートナーシップ

地域の拠点として、住民の皆さんと一緒に、地域をより良くするための活動を進めます。みんなで作り上げるコミュニティを大切に、協力し合える場を提供します。

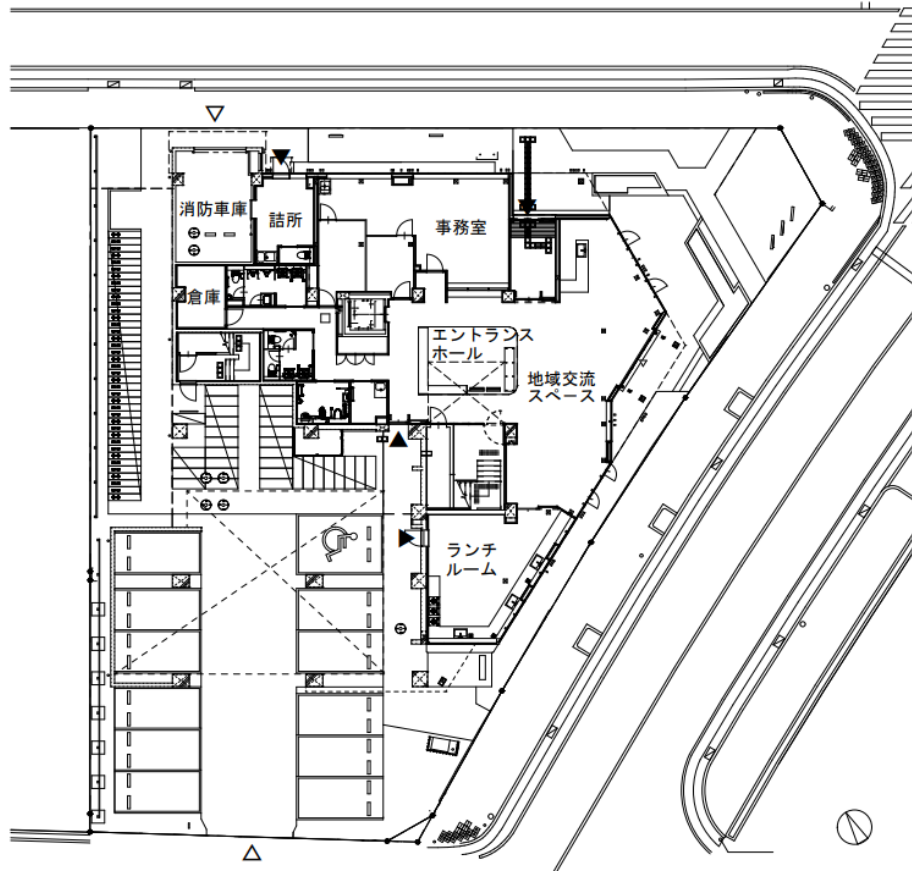
#### ➤ 住民の声を大切にする運営

利用者の意見やアイデアを大切に、施設の運営やプログラムに反映していきます。みんなで作り上げる施設を目指します。

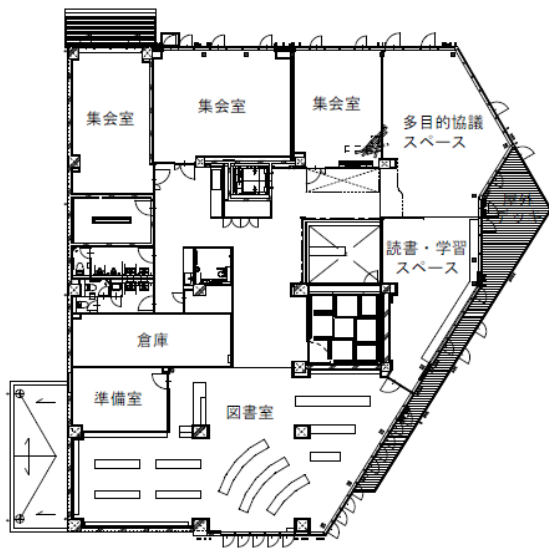
これにより、地域の方々が気軽に集い、学び、そして地域活動に自然と参加できるような運営を心がけます。

■新センター平面図

1F



2F



3F

